

小樽南ロータリークラブ会報



世界に希望を生み出そう

Rotary



2023-2024 年度 R I 第 2 5 1 0 地区 目標

1. クラブの戦略計画を打ち立て、会員増強を実現しよう
2. ポリオデーに参加しよう
3. 地域に根ざした青年奉仕を充実させよう
4. オンリーワンチャレンジを見つけよう

My Rotary
2510地区ホームページ
ICT委員会 Facebook
各委員会へのメール



重点項目

女性会員比率10%達成
ローターアクトの推進
心の健康(メンタルヘルス)づくりを目指す

- 例会場：オーセントホテル小樽 ● 例会日：毎週金曜日 12 時 30 分
- 事務局：〒047-0032小樽市稲穂2-15-1(オーセントホテル内) TEL.0134-27-8100
- Club Homepage：URL <https://rid2510.org/otarusouth/>

1960年創立
昭和35年2月5日

2024年4月19日発行
通巻第3048号

32

今週	4月19日 ● 通常例会 ● ロータリー財団委員会 京谷委員長卓話
来週	4月26日 ● 通常例会 ● 小樽双葉高等学校 ボランティア部顧問 古田先生卓話
再来週	5月3日 ● 休会

■ 会員卓話 山本 政秀 会員

■ ロータリーソング【4つのテスト】

■ 会長挨拶【三栖会長】



高木正光様が再入会という形でゲストではありません。以前同様活躍していただけたと思いますので今後とも長い会員生活をよろしくお願いたします。

それと少し急な話ですが小樽別院の山本会員が急遽本部に移動ということで今日卓話でお話しいたきたいと思ひます。ゴルフもすごく楽し

みになさせてご本人も残念がっていましたが、しょうがないことなのかなと思ひます。

多少春めいてきましたが昨晩もケガをしてるような人もいますのでまだ夜は滑るところもたくさんあります、けが人も出ていますのでしっかり気を付けて新年度を過ごしていただきたいと思ひます。本日も宜しくお願ひします。

■ ガバナー挨拶



3月は非常に忙しくて第2グループのインターシティミーティング、19日が第3グループのインターシティミーティング、30日が第4・5グループのインターシティミーティング、そして函館五稜郭RCのすずらん衛生クラブの立ち上げに伺ってました。

各委員会さんの年度末を控えて活発に動いて私もそれに合わせて活動させて

いただいております。

今日はこの後、石川会員の車で函館の方に行って明後日帰ってきます。このように大変皆さんにはご協力いただけて運転手などをアテンドしていただき深く感謝申し上げます。まだもう少し時間はありますが頑張って最後まで続けられるように自己管理をしていきたいと思ひますのでご協力をお願いします。

■ 幹事報告

- ① 例会変更の案内はございません。
- ② 次週 4月12日は、翌4月13日(土)IM開催の為振替休会となります。
- ③ 明日 4月6日(土)・4月7日(日)と朝里クラッセホテルで、新会員研修会があります。出席される方は、14時受付開始・15時開校式となっています。また、昨日西方委員長よりメールが届き、「当日はカジュアルな服装でお越しく下さい。」とのことでした。
- ④ 本日メールBOXに、4月13日(土)開催IMの自己負担分請求書を入れさせていただきました。支払いは振り込みか例会時荒田会計にお渡し願ひします。

■ 出席委員会

2024年4月5日

総会員数52名 欠席者数13名
荒田、石川、伊早坂、工藤、斎藤(英)、佐藤(公)、佐藤(勉)、田中、地山、斎田、保知、松尾、盛

例会プログラム

■ 会員卓話【山本 政秀 会員】



皆様はそもそも仏教とはどんな宗教だと思ひますか？まず、仏教とは仏の教えであり、古代インドの言葉梵語サンスクリット語で「Buddha・ブッダ」という言葉の音訳でこれを漢字で「仏陀」と音写しました。元々仏陀という言葉は「目覚めた人」という意味の普通名詞です。インドは今でもジャイナ教という宗教があっ

てお釈迦様と同じ時代に生きたマハーヴィーラという人が開祖です。その後仏教が発展していくと、ブッダはお釈迦様一人のことだということで固有名詞のように言われるようになってきました。

このように仏教は「目覚めた人が説いた教え」とすることもできます。では「目覚めた人とは何か」ということを説く教えということがまず最初に重要になります。

お釈迦様の最初の説法、「初転法輪」と言いますがここ

お釈迦様の最初の説法、「初転法輪」と言いますがここには、悟りを得た当初、自身が悟った真理を説いても、欲望に支配された人々は理解できないだろうから無駄だと考え、そのまま悟りの安楽な世界に安住してしまおうと思われたのです。しかし、古代陰田の世界観において世界を創造し宇宙を支配するとされる中心的な神である梵天が現れその心理の方を説くように要請します。これを「梵天勧請」といいます。

お釈迦様は修行僧に向かって「修行僧たちよ、私を修行を完成した者と呼ばなければならない、ゴータマ（お釈迦様の名前）と読んではならない」と言って考えを説こうとしましたが修行僧から非難を受け、3度説得のうち遂に修行僧が認めて初めて教えが説かれます。そうしてお釈迦様と共に5人の新しい仏陀が生まれたのです。これが、お釈迦様の教団・仏教教団の始まりです。

つまり、仏教は、「目覚めた人」とは何なのかを説く考えと言うことが1番目の意義になり、そして「目覚めた人」が説いた真理についての教えということが第2の意義。さらに、その真理によって「目覚めた人」になる方法を説く教えということが3番目の意義です。仏になっていく教えには覚りを得た人によって少しずつ違いが出てきますが基本的には仏になる方法を説いています。

では、お釈迦様の悟りの核心はというと「縁起」です。正確には、「因縁生起」といい「何の原因も条件もなくそのものが単独で生起して存在するものはあり得ない」という意味です。阿含経というお経には「これある故にかれあり、これ起こる故にかれ起こる、これなき故にかれ無く、これ滅する故にかれ滅す」と説かれており、本来縁起とは全ての者は因（原因）縁（条件）の和合によって作られているという仏教の基本的な教えなのです。

私という存在もご縁が集まって私になっているだけでご縁を取り払ったら私という存在はありません。ご縁によって仮初に存在し得ているだけなのです。この事実を目覚めさせていただくと“私が俺が”と「我」に執着することによって苦しんでいる自分の姿に気づかされます。これは生きることに執着するために死をタブー化したことで生じてくるのです。仏教は私たちにある様々な束縛から解放される教えなのです。

仏になるということは私の思いを大きく超えた大きな命の中に活かされている私の本当の姿が明らかになり、老病死という苦悩の原因がはっきり自覚されて生きる者になるということです。

最後にご挨拶をさせていただきます。皆様には2年にわたり暖かくご指導いただいたこと、本当にありがとうございます

ました。振り返れば昭和54年に本願寺に奉職して45年間、自分自身やり切った感がある反面、未練もあります。そして何より寂しいのは、せっかく親しくお付き合い下さった当クラブの皆様へ別れを告げなければならないことです。皆様本当にありがとうございました。賜りましたご厚情に心から御礼申し上げます。

最後に皆様には、どうぞ御体ご自愛くださいますようお願いいたしますと共に小樽南RCがますます発展することを心から念じお礼の言葉とさせていただきます。



会員誕生祝

太田 宏司 齋藤 英伸 北野 明宣
工藤左千夫 佐藤 公俊

おめでとうございます



会員結婚祝

宮川 英隆 新倉 吉晴
白石 亭一 齋藤 仁

おめでとうございます

まごころ箱・・・いつも有難うございます！

佐藤 会員…4月1日嫁の誕生日でした。
小笠原 会員…夫人誕生祝
齋田 会員…夫人誕生祝
高木 会員…夫人誕生祝
宮川 会員…結婚祝、ありがとうございます。
白石 会員…結婚祝
新倉 会員…結婚祝

太田 会員…会員誕生祝・夫人誕生祝、ありがとうございます。
山本 会員…2年間ご指導いただきありがとうございました。とても貴重な時間でした。
三栖 会員…高木先生、再入会ありがとうございます。山本会員さんご苦労様でした。
松浦 会員…毎々お世話になります。

入金集計額

令和 5.7.1 ~令和 6.4.5 (33,000 円)

合計 755,000 円